

英米文化学会会報 第29号



SES NEWSLETTER

英米文化学会編集委員会

英米文化学会第92回例会のお知らせ

標記の大会を下記要領にて開催します。

◆開催年月日：平成8年11月16日（土）

★★例会会場にご注意！ 東京大学です！★★

◆場 所：東京大学医学図書館3階333号会議室（本号の最終ページに案内図があります）

◆時 間：15:00～18:00（受付14:30）

研究発表 15:00～16:25

1. 日本人の英会話における性差

鷺 直仁（青山学院大学大学院）

司会 柏木 厚子（昭和女子短期大学）

田辺 治子（麻布大学）

2. 十九世紀イギリスにおける動物愛護運動

司会 鶴浦 裕（北里大学）

講 演 16:30～17:30

マーク・トウェインとの出会い

英米文化学会前会長 勝浦 吉雄

紹介 英米文化学会会長 名和雄次郎

忘年会：18:30～ 於 ホテルパークサイド 鶴の間 会費：5000円

（上野の水の上音楽堂の真向いにあるホテルで美味しい料理で有名です。ホテルの電話番号は3836-5711です。忘年会にのみご出席の場合には事前に事務局まで電話を入れてください。FAXを送付いたします。）

学会費納入のお願い

平成8年度までの学会費を未納の場合には、下記の口座に振り込みをお願いいたします。

郵便局： 加入者名：英米文化学会 口座番号：00160-7-611777

銀行： 口座名義：英米文化学会 あさひ銀行毛呂山支店 口座番号：3505809（普通預金）

（財務担当理事 石川郁二）

第92回例会研究発表レジメ

1. 日本人の英会話における性差

鷺 直仁

日本人が話す英会話に、いかなる性差が見られるのかというテーマについて考察したい。Gass と Varonis (1986) は、"sex differences in NNS/NNS interaction"の中で、英語を母国語とせず、かつ、共通の母国語をもつ人達の英会話の性差について検証している。私は、1995年に、日本人を被験者とする実験をして、様々なデータを得た。今回の発表では、それを基に、いかなる性差が存在するのか論じ、かつ、Gass と Varonis のデータとの比較も試みたい。

2. 十九世紀イギリスにおける動物愛護運動

田辺 治子

十八世紀にはヨーロッパで最も動物に対して残酷な国といわれていたイギリスが十九世紀以後、動物福祉の先進国となったのは、動物虐待に対する反動ということもあるが、その背景にビクトリア女王を頂点とする慈悲心の発露と、都市化・工業化という社会の変化が存在する。動物愛護運動は Humane Movement と呼ばれるが、スラム街の子供の救済、パブリックスクールの改革、監獄の改善などの、十九世紀の一連の人道主義運動の一環としてとらえることができる。そして、運動の中に貴族や富裕階級を取り込むことと、労働者階級の動物愛護教育に尽力することによって、上品でファッショナブルな運動へと発展して、十九世紀末までには British Culture の一部となる。このような背景をもつ動物愛護運動が、第二次大戦後導入された日本で、文化摩擦をおこしている現状について考える。

CD-ROMソフト評

遊びながら学べる OED

須田 理恵

OED 2nd edition の CD-ROM が六月一日に発売された。七月、学会の帰りにオックスフォードに立ち寄つ

た際、1835年創業のソーントonzという古本屋で広告を見て買うか、買うまいか躊躇していたが、やはり買ってしまった。定価495ポンドが295ポンドになるという超お買い得で、しかもメールまたはファックスで注文すればすぐに届からだった(Fax:00-44-0-1865-204021 e-mail:Thorntons@booknews.demon.co.uk)使ってから数日しか経っていないので、これから色々面白い使い方ができるだろうが、これまでのところで遊びながら発見したことを列挙したい。

まず、別にワープロソフトなどを開いて、その上にOEDで調べたことを貼り付けると、いちいちメモするという手間が省ける。さらに便利なことには、CD-ROM版にはプリントアウトしなくてもquery fileという「便利帳」が附いていて、引いた単語を記録できる。さらにコピーとペーストを繰り返し、ずんずん読みたいところに飛ぶことができる。しかもその検索の軌跡はちゃんと保存できる。これが時間が経つと、無意識の思考の流れを記録するものとなり、これを後で読むと、案外面白い。つまり、単語を引くことが意味や定義、語源や発音ばかりを調べるのではなくてOED製作者—<http://www1.oup.co.uk/cite/oup/ar/oed/newoed/>の受け売りではないが、辞書を引くということは英語を読む上での単なる手段以上のものとなる。ジョイスの翻訳者柳瀬氏も驚く、夢のような方法がいつも簡単に実行できる。辞書とは読むもの、遊ぶものなのである。

会員による出版物のお知らせ

有馬健一『フランク・ノリスとサンフランシスコ<アメリカ自然主義小説論>』（桐原書店、2,060円）

ノリスの作品を読みながら、その背景を知りたくなり、現地に幾度も足を運んでいるうちに、彼の作品だけではなく、19世紀末のサンフランシスコ文化全体にまで関心を広げた結果がこの文学論として結実したようです。写真や図版も豊富に織り込まれ、親しみやすい本です。(名和雄次郎)

分科会活動報告

1. 第一分科会の出版計画に関して

- (1) タイトル：『たたかう性—英米文学作品に見られるヒロインたち』
- (2) 執筆者：吉田、高取、須田、佐久田、君塚、五味田
- (3) 原稿は出版社に渡しました。年内に刊行の予定です。
- (4) 刊行後、第一分科会は解散します。

2. 第二分科会の出版計画に関して

- (1) タイトル：『現代アメリカ小説』(*The Modern American Novel* by M. Bradburry, O. U. P. の翻訳)
- (2) 翻訳者：佐藤(成)、高取、上野、相良、君塚、宍戸、五味田
- (3) 原稿は出版社に渡しました。年内に刊行の予定です。
- (4) 今回の翻訳は原文の後半部分ですので、刊行後、前半部分の翻訳に取りかかることになる(出版社との交渉はこれからです)と思われます。

事務局からの連絡・報告

1. 第92回例会関係 重要!

例会の開催場所が変更

になりました! 今回の例会は、いつも場所を提供していただいている日本大学歯学部ではなく、東京大学医学図書館3階の333号会議室となります。間違えて日本大学に行かなくても当日は部外者立ち入り禁止となっておりますのでご注意ください。11月16日(土)午後3時より開催です。

2. 学会発足三十周年記念事業について

英米文化学会は平成9年に発足30周年を迎えますがそれを記念するパーティの開催と学会の歴史を収めた出版物(仮称『英米文化学会の歩み』)の刊行を企画しております。

3. 第14回大会が成功裡に終了!

8月23・24日に開催された第14回大会は、地方大会初の50有余名の参加者を迎えて無事に終了しました。長野清泉女学院短期大学の皆様のご協力もあり、かつ天候にも恵まれ非会員の多数の参加もあって、盛大に行なうことができました。

今回は、開催校の学長、総務部長もご参加いただき、初の試みとして、立食パーティー形式ではなく、着席宴会形式で懇親会を、学会指定の宿泊施設三井ガーデンホテル長野の最上階のホールにて催し、参加者からご好評をいただきました。

次回の第15回大会は東京にて開催されます。

4. 日立ソフトのコンピュータの販売終了について

日立ソフトウェア・エンジニアリング株式会社ならびに株式会社スリーウェブのご協力を得て提供しました、会員専用システムの販売は終了させていただきました。以後のコンピュータ購入については、事務局から個別

に御相談させていただくことになりますのでご了承ください。

5. 学会ホームページの内容充実のお知らせ

学会のホームページにて、各種のお知らせを掲示しております。アクセス可能な方は、即時性のある、ホームページにて学会の動きをチェックなさってはいかが？

URL=<http://www.threeweb.ad.jp/~shakey23/>

学会のホームページから、会員のホームページにリンクを張らせていただきますので、ホームページを開設された会員はご一報ください。この会報のバックナンバーも掲示されております。インターネットの性質上すべて同じわけではありません。

6. 会員の動き

<新入会員>

<住所訂正>

7. 会員住所録について

本会報と一緒に会員名簿を送付します。スペースの都合上、住所の一部（マンション名等）を省略してありますが、ご了承ください。もし誤りがありましたら、下記事務局までご連絡ください。また、住所等変更の場合にも速やかに手紙かFAXでお知らせください。

〒101 千代田区神田駿河台1-8-13 日本大学歯学部 佐藤英語研究室

FAX 03-3219-8333

英米文化学会創立30周年記念事業について

1. 英米文化学会創立30周年記念事業に関しては、名和会長を中心に、下記の会員の先生方がお仕事を担当されております。

高取 清(副会長)、小野 豊(副会長)、佐藤治夫(事務局)、石川郁二(財務)；

小川喜正(『英米文化学会の歩み』編集長)、中村 豪、山根正弘、岸山 睦

2. 下記の要領にて『英米文化学会の歩み』の原稿を募集いたしますのでふるってご応募のほどお願いいたします。執筆ご希望の場合には予めお申し込みください。(小川喜正)

1) 原稿枚数：横書400字詰原稿用紙5枚以内(フロッピー添付歓迎)

2) 原稿タイトル：自由(学会の思い出、学会にまつわるエピソード、会員としての感想等)

3) 執筆申込締切日：平成8年11月16日

4) 原稿執筆申込先および原稿送付先：小川喜正 〒

5) 原稿送付締切日：平成9年3月末日

『英米文化学会の歩み』の内容については以下のようなものを予定しております。

巻頭言、英米文化学会の沿革(足跡)、歴代役職者の先生方の原稿、口頭研究発表タイトル・発表者名等、『英米文化』掲載論文・執筆者名、会員名簿、編集後記

第93回例会・第15回大会研究発表者募集のお知らせ

1. 第93回例会(平成9年3月8日)の研究発表をご希望の場合には例会担当理事鈴木俊二先生までお申し込みください。なお、タイトルのほかに発表時間(30分、40分、60分のいずれか)も併せてお知らせください。

〒124 葛飾区堀切2-47-14 鈴木俊二先生宛

2. 第15回大会(平成9年9月6日)の研究発表をご希望の場合には大会担当理事曾村充利先生までお申し込みください。なお、研究発表時間は30分です。

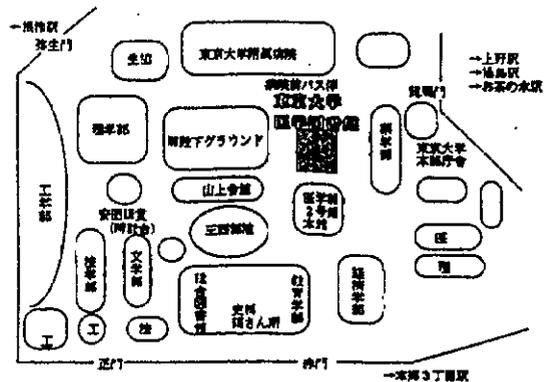
〒165 中野区鷺宮4-25-12 曾村充利先生宛

第92回例会会場(東京大学医学図書館)案内図

東京大学医学図書館への経路

地下鉄利用 丸の内線 本郷3丁目駅下車(徒歩8分)
千代田線 湯島駅または根津駅下車(徒歩8分)
南北線 東大前駅下車(徒歩5分)

都バス利用 JR御茶ノ水駅より駒込駅、王子駅行きバス(茶51)または荒川土手行きバス(東43) 東大赤門前バス停下車
JR御茶ノ水駅より東大構内行きバス(学07) 東大病院前バス停下車
JR上野駅及び御徒町駅より東大構内行きバス(学01) 東大病院前バス停下車



英米文化学会会報 第29号 編集・発行：英米文化学会編集委員会＝池田 広子、小川 喜正、岸山 睦、武井 朗子、中村 豪、宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者： 中村 豪 〒